

職員による自己評価

A環境面

- ・スペースが適切なのかは、どちらともいえない。
- ・外窓は非常口として通れるがスロープは設置されていない。

B児童への支援内容

- ・基本的な支援として行えているが、確立して行えていない箇所もある。

C関係機関との連携

- ・保護者へ日頃の様子や情報提供については行えているが、地域との交流は確立出来ていない。
- ・必要に応じて子ども達が利用している関係機関と情報交換をしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者に正確に伝えられているか不安がある。
- ・必要に応じての説明や保護者からの要望や意見についても事業所で話し合いをして速やかに保護者へ返答している。
- ・個人情報についても必要時に確認等を徹底して行っている。

E非常対応

- ・事業所としては訓練を行っているが、時間の関係もあり、子供たちを含めては実施出来ていない。
- ・緊急時マニュアルは作成されているが、どこまでの内容として必要かは明確になっていない。

保護者による評価

A環境面

- ・スペースが適切なのかは、どちらともいえない。
- ・専門性についてわからない。
- ・玄関の屋根があった方が良い。
- ・子供の年齢が上がっていくと手狭なことがある。

B児童への支援内容

- ・他機関との交流はない。
- ・他機関との交流は週 1 の利用では難しいと思う。

C事業所からの情報発信

- ・保護者会は実施されていない。
- ・苦情について説明されているか不明。
- ・活動概要や行事予定等が説明されているか不明。
- ・何か子供にあると連絡をくれるので安心。

D非常対応

- ・緊急時マニュアル、防犯マニュアルの周知がされているか不明。
- ・訓練が実施されているか不明。
- ・事件もあったので訓練は実施して欲しい。

Eその他

- ・子供が楽しんでいるので、満足はしている。
- ・送迎エリアが広がると嬉しい。
- ・毎週楽しみにしています。
- ・安心して子供を預けられる事業所です。
- ・子供を第一に考えているのを十分に感じます。

事業所内での分析

【共通点】

- ・スペースが適切か。
- ・交流は出来ていない。
- ・保護者会の実施。
- ・屋根が短い
- ・避難訓練が事業所では行っているが、放ディとしては出来ていない。
- ・必要に応じての連絡は速やかに出来ている。

【相違点】

- ・送迎エリアの拡大

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・連絡が速やかに対応出来ている。
- ・安心して利用をしてもらえている。

事業所の改善点

- ・定期的な保護者を予定する。
- ・定期的に放ディとしての避難訓練や地震や火災等についての学びを行う。
- ・年間予定表の作成と配布。

事業所の改善への取り組み

- ・放ディで防災週間を決め、実施。
- ・次年度に向けて保護者との交流の場を計画。